

			部長	課長	リーダー	グループ	審査	設計者
事業番号	施水配委 第 2 号	水質検査 業務委託 (単価契約) 設計書						
年度	令和 8 年度	多治見市 市内一円						
事業概要	水質検査				設計年月日	令和 8 年 1 月 22 日		
	採水場所				施行方法	請負		
	①諏訪町公民館 [虎渓山受水池系 富士見配水区] ②生田公園 [元町受水池系 元町配水区] ③市之倉下水処理場 [滝呂受水池系 市之倉配水区] ④安土桃山陶磁の里 [滝呂受水池系 滝呂北配水区] ⑤脇之島北第5公園 [滝呂受水池系 脇之島配水区] ⑥虎渓公園 [小名田受水池系 旭ヶ丘南配水区] ⑦北小木水質監視所 [小名田受水池系 北小木配水区] ⑧喜多町西遺跡公園 [小名田受水池系 高根西配水区] ⑨笠原下水処理場 [笠原受水池系 笠原低区配水区]							
					履行期間	自 令和 8 年 4 月 1 日		
						至 令和 9 年 3 月 31 日		
					歩掛適用年月日	令和 年 月 日		
				単価適用年月日	令和 年 月 日			
事業目的	・ 水道法第20条、水道法施行規則第15条に基づき、水質基準項目（52項目）、水質管理目標設定項目（5項目）等の水質検査を採水場所9箇所で行うもの。							

事業費総括表

項 目		金 額	摘 要
本 業 務 費	業 務 価 格	円	
	消 費 税 相 当 額	円	
	設 計 金 額	円	

本 工 事 内 訳 書

費 目	工 種	種 別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
本業務委託費							
	水質検査費						
		水質基準項目 9項目	72	検体			採水箇所 9箇所
		水質基準項目 21項目	27	検体			採水箇所 9箇所
		水質基準項目 52項目	9	検体			採水箇所 9箇所
		水質管理目標設定項目 5項目	9	検体			採水箇所 9箇所
	計						
消費税及び地方消費税の額							
総委託費							

特記仕様書

本業務は、水道法第 20 条に基づく定期の水質検査及び臨時の水質検査業務を委託するものである。

第 1 章（基本事項）

1 目的

本業務は、給水栓水等の水質検査を目的とする。

2 適用範囲

本仕様書は、多治見市（以下「発注者」という）が委託する「水質検査業務委託」に関し、発注者及び受注者が遵守すべき事項を示すものである。

3 業務の委託期間

令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日までとする。

第 2 章（一般事項）

1 法令等の遵守

受注者は、業務の遂行にあたり関係する法令等について、これを遵守する。

2 機密の保持

受注者は、業務の遂行上知り得た事項を第三者に漏らしてはならない。

3 履行場所

多治見市の給水区域内とする。

4 再委託の禁止

原則として、水質検査を受託した検査機関においては、自ら水質検査を実施する。

5 手続き等

受注者は、業務の遂行上必要な手続き等は、受注者の負担で行う。

6 疑義について

この仕様書に定めのない事項、又はこの仕様書について疑義が生じた場合は、発注者、受注者協議する。

第3章（検査項目）

1 給水栓水質検査（定期の水質検査）

（1）検査項目及び検査頻度

別紙1－1（水質基準の項目と検査頻度）のとおり。

（2）採水日程

別紙1－1（水質基準の項目と検査頻度）のとおり

（3）採水場所

- | | |
|------------|----------------|
| ① 諏訪町公民館 | （諏訪町北ノ洞99） |
| ② 生田公園 | （東町3－15） |
| ③ 市之倉下水処理場 | （市之倉町13－260－3） |
| ④ 安土桃山陶磁の里 | （東町1－9） |
| ⑤ 脇之島北第5公園 | （脇之島町5－7－24） |
| ⑥ 虎溪公園 | （弁天町3－40－1） |
| ⑦ 喜多町西遺跡公園 | （喜多町7－64） |
| ⑧ 北小木水質監視所 | （北小木町462－1） |
| ⑨ 笠原下水処理場 | （笠原町4614－1） |

（4）試料容器の準備

ア 受注者は、別紙1－1の検査項目に対し、各採水地点ごとに採水容器を用意する。

イ 採水容器の洗浄については、受注者の責任において充分に行う。

（5）採水方法等

ア 5分間流水後、現場測定項目を測定し異常が無いことを確認し各検査項目の採水を行う。

イ 採水時に異常が認められた場合は、直ちに発注者にその内容を報告する。

（6）試料の運搬

試料は、クーラーボックス等に入れ氷冷し、破損防止の措置を施して運搬する。ただし、検査機関までの搬入時間は、最初の試料採水後、告示法で12時間以内に試験開始とされた検査が実施可能な時間内とする。

2 臨時の水質検査

（1）検査項目及び検査頻度

検査を行う項目については、発注者、受注者協議のうえ決定する。

（2）採水日時及び採水地点

発注者が指示する日時、地点で採水を行う。

（3）試料容器の準備

ア 受注者は、必要な検査項目に対し、採水地点ごとに採水容器を用意する。

イ 採水容器の洗浄については、受注者の責任において充分に行う。

(4) 採水方法等

- ア 5 分間流水後、現場測定項目を測定し異常が無いことを確認し各検査項目の採水を行う。
- イ 採水時に異常が認められた場合は、直ちに発注者にその内容を報告する。

(5) 試料の運搬

試料は、クーラーボックス等に入れ氷冷し、破損防止の措置を施して運搬する。ただし、検査機関までの搬入時間は、最初の試料採水後、告示法で 12 時間以内に試験開始とされた検査が実施可能な時間内とする。

第 4 章（検査方法）

1 水質検査等

(1) 検査方法

検査方法は、水質基準項目については「水質基準に関する省令の規定に基づき厚生労働大臣が定める方法」（平成 15 年厚生労働省告示第 261 号(最近改正を使用))、残留塩素については水道法施行規則第 17 条第 9 項の規定に基づき厚生労働大臣が定める遊離残留塩素及び結合残留塩素の検査方法（平成 15 年 9 月 29 日厚生労働省告示第 318 号(最近改正を使用))、水温については「上水試験方法」（最新版）により行う。

また、水道水に供される水、水源の水及び飲用に供する井戸水以外の試料と前処理を含む同時分析を行わないものとする。

(2) 現場での測定

- ア 水温、残留塩素等は現場で測定を行い、そのための計器、器具は受注者が準備をする。
- イ 採水時刻、採水場所及び採水者を表示した現場写真撮影を行う。また、試料採水後の採水瓶の一括撮影を行う。
- ウ 受注者の採水者は、作業の実施に当たって身分証明書等を携帯し、発注者の請求に応じて提示しなくてはならない。

(3) 数値の取扱い

「水質基準に関する省令の制定及び水道法施行規則の一部改正等並びに水道水質管理における留意事項について」（厚生労働省水道課長通知 平成 15 年 10 月 10 日付健水発第 1010001 号（最近改正を使用））に基づき実施する。

(4) 速報値の報告

- ア 給水栓水及び原水の水質検査結果については、採水日から 10 日以内に一次報告を行う。
- イ 水道法第 18 条に基づく水質検査結果については、発注者の指示する日までに報告する。
- ウ 水質検査結果が水質基準値を超えた場合、又は前回調査時よりも著しく変化した場合は、水質検査項目ごとに直ちに発注者に連絡する。

(5) 再検査

発注者は、水質検査結果等に疑義が生じた場合は、再検査を指示することができるものとする。この場合の費用は、発注者、受注者協議のうえ決定する。

(6) 器具類

水質検査に使用する器具類は、検査に影響を与えないよう十分に洗浄したうえで使用する。

(7) 報告書の作成

ア 報告書には検査結果、水質基準値、定量下限値及び検査方法を記載する。

イ 検査結果以外にも、分析日時及び分析を実施した検査員を示した試料、分析条件、検量線(相関係数も含む)、クロマトグラム並びに濃度計算書等を添付する。

2 検査結果の信頼性確保

受注者は、次の各項目に留意して検査結果の信頼性確保に努め、発注者の要請に応じてその記録を速やかに提出する。

(1) 検査体制の整備

水質検査結果は、検査責任者等によるチェックを行い、記録する。

(2) 作業記録

ア 受注者は、実際の作業においても、標準作業書に沿った記録を行う。

イ 受注者は、日々実施した業務を作業日報として記録する。

(3) 機器の整備

受注者は、分析に使用する器具、機械及び装置について、その使用に支障がないように整備し、記録する。また、常に適正な分析値が得られるよう、機器の自主点検を徹底するとともに、必要な定期点検を遅滞なく受け、記録する。

(4) 内部精度管理の実施

内部精度管理項目として相応しい水質検査項目について、年に一回以上、及び検査担当者が変更するごとに実施し、記録する。

(5) 検査試料の保存及び廃棄

検査試料の保存期間は、その期間の短縮について発注者の指示又は了解があった場合を除いて、試料の採水日から1ヶ月間(土曜日、日曜日、祝祭日を含む。)とし、廃棄日を記録する。

保存期間終了後の検査試料は、関係法令を遵守して受注者が廃棄する。

(6) 検査結果算出過程に作成した資料の保存等

検査結果を得るための記録類は、その保存期間の短縮について発注者の指示及び了解があった場合を除き、5年間保存とする。

(7) 受注者への立入検査

上記(1)~(6)の事項及び設備状況等について確認するため、発注者(発注者から委嘱を受けた専門家を含む)は、随時に受注者への立入検査を実施できるものとする。

(8) クロスチェック

発注者は、指定した給水栓水についてクロスチェックを行うことができる。

この場合、受注者は、発注者が準備した採水容器にクロスチェック用の試料を通常の検査試料と同時に採水を行い、発注者に提出する。

3 提出書類

(1) 提出書類

水質検査結果書（一次報告書）	1 部	各採水日から 1 週間以内
水質検査業務委託報告書	2 部	各採水日から 3 週間以内

(2) 受注者は、指定の期日までに表に示す書類を作成し、発注者に提出する。

なお、発注者が別途他の書類の提出を求めた場合は、当該書類を提出する。

(3) 受注者は、提出した書類に変更が生じたときは、直ちに変更した書類を発注者に提出する。

ただし、提出期限等については、土、日曜日及び祝日は含まないものとする。

4 安全管理

(1) 受注者は、本業務委託に係る事故の防止と安全確保のための必要な処置を講じること。

(2) 本業務委託施行中、交通の妨害となる行為、又は公衆に迷惑を及ぼす行為がないよう、交通及び保安上十分な注意を図ること。特に冬期における採水では、凍結防止のため車道及び歩道に水が残らないように努めること。

(3) 本業務委託施行中に事故が発生したときは、直ちに業務を中断して応急処置を講じるとともに、その拡大防止に努め、事故の原因、経過及び被害内容を発注者に報告すること。

第5章（その他）

(1) 資料の提供

本業務委託に必要な資料は貸与する。受注者は資料が外部に漏洩しないよう管理し、作業完了後速やかに発注者に返却すること。また、作業の便宜上、複写した場合は作業終了後に速やかに処分すること。

(2) 打合せ

契約締結後、直ちに発注者と打合せを行うこと。

(3) 環境への配慮

受注者は、作業全般に渡り次の事項など、環境配慮に努めるものとする。

ア 自動車、施工機械の使用にあたっては、環境に配慮した仕様に努め、無用な使用を出来るだけしないように心がけること。

イ 業務完了時の提出書類等は、環境や再利用の観点から両面印刷等に心がけること。

ウ 業務を施工するにあたり、購入やレンタルする必要がある物品については、環境に配慮して極力グリーン購入法に適應したものを活用するよう努めること。

エ 清掃等周辺環境美化に努めること。

オ 業務全般にわたり省電力、省エネルギーに努めること。

カ 上記のほか、受注者として環境に配慮する計画があれば業務着手時に、書面にて提出すること。

(4) 妨害又は不当要求に対する通報義務

1. 受注者は契約の履行に当たり、暴力団又は暴力団員等から事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求を受けた場合又は契約の適正な履行を妨害された場合は警察に通報しなければならない。なお、これらの不当介入を受けたにも関わらず通報しない場合は指名停止措置を講じることがある。
2. 受注者は暴力団又は暴力団員等による不当介入を受けたことに起因して履行期間内に契約内容を完了することができないときは、発注者に対して履行期間の延長を請求することができる。

水質基準の項目と検査頻度

採水場所①②③④⑤⑥⑦⑧⑨

No.	水質基準項目	給水栓水質検査											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	一般細菌	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	大腸菌	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	カドミウム及びその化合物					○							
4	水銀及びその化合物					○							
5	セレン及びその化合物					○							
6	鉛及びその化合物					○							
7	ヒ素及びその化合物					○							
8	六価クロム化合物					○							
9	亜硝酸性態窒素					○							
10	シアン化物イオン及び塩化シアン		○			○			○			○	
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素					○							
12	フッ素及びその化合物					○							
13	ホウ素及びその化合物					○							
14	四塩化炭素					○							
15	1・4-ジオキサン					○							
16	シス-1・2-ジクロロエチレン及び トランス-1・2-ジクロロエチレン					○							
17	ジクロロメタン					○							
18	テトラクロロエチレン					○							
19	トリクロロエチレン					○							
20	ペルフルオロ(オクタン-1-スルホン酸) (別名PFOS) 及びペルフルオロオクタン酸 (別名PFOA)					○							
21	ベンゼン					○							
22	塩素酸		○			○			○			○	
23	クロロ酢酸		○			○			○			○	
24	クロロホルム		○			○			○			○	
25	ジクロロ酢酸		○			○			○			○	
26	ジブロモクロロメタン		○			○			○			○	
27	臭素酸		○			○			○			○	
28	総トリハロメタン		○			○			○			○	
29	トリクロロ酢酸		○			○			○			○	
30	ブロモジクロロメタン		○			○			○			○	
31	ブロモホルム		○			○			○			○	
32	ホルムアルデヒド		○			○			○			○	
33	亜鉛及びその化合物					○							
34	アルミニウム及びその化合物					○							
35	鉄及びその化合物					○							
36	銅及びその化合物					○							
37	ナトリウム及びその化合物					○							
38	マンガン及びその化合物					○							
39	塩化物イオン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
40	カルシウム、マグネシウム等					○							
41	蒸発残留物					○							
42	陰イオン界面活性剤					○							
43	ジェオスミン					○							
44	2-メチルイソボルネオール					○							
45	非イオン界面活性剤					○							
46	フェノール類					○							
47	有機物 (全有機炭素 (TOC) の量)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	pH値	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	味	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
50	臭気	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
51	色度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	濁度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
53	残留塩素	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
54	水温	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
目3	ニッケル及びその化合物					○							
目10	亜塩素酸					○							
目13	ジクロロアセトニトリル					○							
目14	抱水クロラール					○							
目28	従属栄養細菌					○							

定期検査採水位置図

